

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【 宮城県 】

1 実践テーマ	【 II・IV 】
2 実施対象者	宮城県利府高等学校 スポーツ科学科2年次（女子） 25名
3 展開の形式	<p>（1）学校における活動</p> <p>① 教科名（ スポーツⅣ ）</p> <p>② 行事名（ 修学旅行・文化祭 ）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>（2）地域における活動</p> <p>① イベント名（ 宮城野区市民センター祭り ）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目標 （ねらい）	授業で学んでいる日本舞踊を通して、日本独特の共生感覚や美意識を高める。また、修学旅行先（オーストラリア）の高校との文化交流の一環として日本舞踊を披露することにより、日本の伝統文化を理解する一助とする
5 取組内容	<p>本校では、スポーツ科学科の授業としてスポーツⅣ（ダンス）の1つとして日本舞踊を取り入れている。今年度は本事業を利用し、普段の授業から練習風景を撮影するなど、動画を利用した効果的な稽古を模索しながら取り組んだ。また、最終的な発表の場として、修学旅行先（オーストラリア）における現地の高校との交流会を設定した。そのため、段階的に発表する機会を多めに設定し、より完成度の高いものを目指した。</p> <p>① 文化祭（2018.8.31 金）</p> <p>文化祭の校内発表日に、全校生徒の前で披露した。夏季休業明けでもあり、授業で細かいことを徹底する時間がほとんどないため、完成度は高いとはいえないが、発表の段取りなどを覚える機会になった。生徒たちは一通り舞うことができ、一安心したようである。この時点では『近江のお兼』1曲のみの発表ある。</p> <p>② 宮城野区市民センター祭り（2018.11.10 土）</p> <p>仙台市宮城野区の市民センター祭りで『近江のお兼』と『花笠音頭』の2曲を披露した。観客は50名程度であり、文化祭のときよりはずっと少ないのだが、地域の方々の前での披露は生徒にとってかなりの不安と緊張感があったようである。しかし、披露後には達成感もあり、少しずつではあるが自信をつけることができた。</p>



### ③ 校内発表会（2018.11.30 金）

総仕上げとして、本校体育館において校内発表会を実施した。これまで保護者向けに披露する機会がなかったので、この発表会は保護者の方も招いて実施した。半年以上の練習の成果を発揮することができ、自信をもって修学旅行へ出発することができた。



### ④ 修学旅行先（オーストラリア）の高校との交流会

最終目標としていた発表である。現地では屋外での発表となり、風など予想外のこともあったが、無事発表することができた。交流先の高校生の評判も上々であり、日本的な美しさを表現できたのではないかと考える。



## 6 主な成果

最終的な発表の場を海外に設定したことで、日本らしさをより意識した稽古ができた。また、稽古では着付けから扇子の使い方など細かな所作を学ぶとともに、その過程で曲の時代背景や舞手の心情をとらえて表現することなどを教えていただく場面も多く、日本の文化や伝統的な日本舞踊の美しさなどを考えさせることができた。

生徒たちからは、もう一度稽古してみたい、海外で披露しよしい経験をさせてもらった、礼儀作法や所作は今後も様々なところでつかえるのでよい勉強になったなど、日本舞踊に対してさらに興味関心を抱くような感想が多くきかれた。



7実践において工夫した点 (事業の特色)	日本舞踊は授業として実施してきたが、発表の場を多く設定することにより常に目的意識をもって練習できるようにした。また、動画を利用することにより、自分の踊りを客観的に見て修正し、より細かな表現に注意して練習できるようにした。
8主な課題等	発表内容としては素晴らしいものになっているので、せっかく身につけた日本舞踊を披露する機会がもっとあってもよいと思う。しかし、授業の一環として実施しているため、一般の方への発表に耐えうるレベルになるのは11月以降になってしまうことや、休日は部活動の大会などが開催されていることから、なかなか難しいのが現状である。
9来年度以降の実施予定	継続して実施していく予定である。